

## 2012年12月 気仙沼仕事創出プロジェクトレポート

### 2012年12月1日「戦略経営研究会「東日本大震災以降の社会起業」にてプラン発表

ロータリーアクトによる「気仙沼仕事創出プロジェクト」はビジネスパーソン視点の公共政策研究グループ「戦略経営研究会「東日本大震災以降の社会起業」にてプランを発表しました（会場は竹橋のちよだプラットフォームスクウェア）。

基調講演は佐藤大吾さん（一般財団法人ジャスト・ギビング・ジャパン代表理事）が「日本の寄付文化」について行い、その後、社会起業ディスカッションのパネラーとして、花田寛明さん（石巻復興プロジェクト）、坪田哲司さん（SEEDx 地域未来塾）、青鹿昌喜さん、杉山章子さん（セキュリテ被災地応援ファンド）とともに登壇をさせていただきました。

「気仙沼仕事創出プロジェクト」の沿革と趣旨、現状と課題、そして、これからの展開についてお話しをしました。出席者は東京のビジネスパーソンなど25名ほどでした。また、出席者には気仙沼市唐桑町の水産加工会社「有限会社カトー」のぱりぱりわかめをプレゼントさせていただきました。



### 2012年12月15日～16日「気仙沼市唐桑町の水産加工会社「有限会社カトー」

#### とお打ち合わせ

気仙沼市唐桑町の水産加工会社「有限会社カトー」へお打ち合わせに行きました。気仙沼の水産加工品の東京圏への販路開拓のサポート事業の一環として、「定期購買」プラン向けの商品構成、値決め、期間などについて取り決めをさせていただきました。合わせて、定期購買の宣伝に使用するパンフレットの写真撮影や文章構成をさせていただきました。

また、別のスタッフにより、カツオの加工会社、マグロの加工会社、イカ・サンマなどの加工会社への調査（現状と水産加工品、東京圏への販路開拓サポートを希望されるかどうかを調査）も行いました。後日、これらの会社の水産加工品の試食会を行いました。

